



IX Knowledge Inc.

2023年3月期 第2四半期 決算説明会

2022年11月22日

アイエックス・ナレッジ株式会社

東証スタンダード市場(9753)



目次

当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

トピックス

2023年3月期 第2四半期

- | | |
|----|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none">・組織再編
→当社ビジネスソリューションへの先端技術等取り入れを強化するため、
ビジネスイノベーション室新設（オープンイノベーション戦略事業部を改組）・新入社員82名入社・おかえりなさい制度導入（4月～10月採用実績：3名） |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none">・大手ベンダー様、情報システム会社様 各1社から表彰・大手ベンダー様、情報システム会社様 各1社からパートナー認定・情報システム会社様1社から感謝状 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none">・譲渡制限付株式報酬制度導入 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none">・大手ベンダー様1社からパートナー認定 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none">・自己株式の取得開始（2022年8月1日から2022年12月23日まで）・取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分・ジャパンインターナショナルシーフードショー出展、セミナー登壇 |

社会変化への対応

DXの加速、働き方改革の加速

当社の取組み例

- クラウドネイティブ人材育成
- 社内デジタル化推進
- 採用・教育面でのオンライン化推進
- フレキシブルな働き方の展開
- 即戦力人材獲得に向けた新制度の導入

2023年3月期 第2四半期 業績概要 (1)

【売上高】 9,798百万円 (前年同期比 6.5%増)

システム開発案件の拡大、システム運用、基盤・環境構築案件の拡大により増収

● 売上への影響要因

■ 開発サービスの中のシステム開発売上増加 (↑)

✓ システム開発案件の増加

- ・大手ベンダー経由の開発案件
- ・金融機関、資産運用事業者向けシステム開発案件

■ システム運用、基盤・環境構築売上増加 (↑)

✓ 大手ベンダー経由案件の増加

2023年3月期 第2四半期 業績概要 (2)

【営業利益】755百万円（前年同期比15.8%増）

適正な原価管理、販管費の抑制により増益

● 営業利益への影響要因

- ✓ 売上高の増加
- ✓ 技術者育成による単価向上、
適正な原価管理による原価率の低減
- ✓ 働き方改革・社内デジタル化への取り組み継続による
販管費の抑制

2. 2023年3月期第2四半期業績

当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

2023年3月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

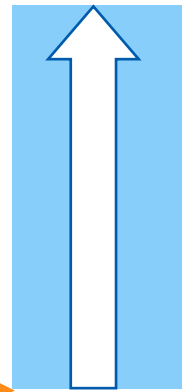
	2023/3月期 第2四半期	2022/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	9,798	9,197	601	6.5%
売上原価	7,786	7,328	458	6.2%
売上総利益	2,011	1,868	143	7.6%
売上総利益率	20.5%	20.4%	—	—
販管費	1,255	1,215	40	3.3%
営業利益	755	652	103	15.8%
経常利益	795	700	95	13.6%
四半期純利益	543	493	50	10.0%

営業利益の変動要因

(単位：百万円)

売上高の増加 +601
売上原価の増加 ▲458

営業利益
652



販管費の増加
▲40



営業利益
755

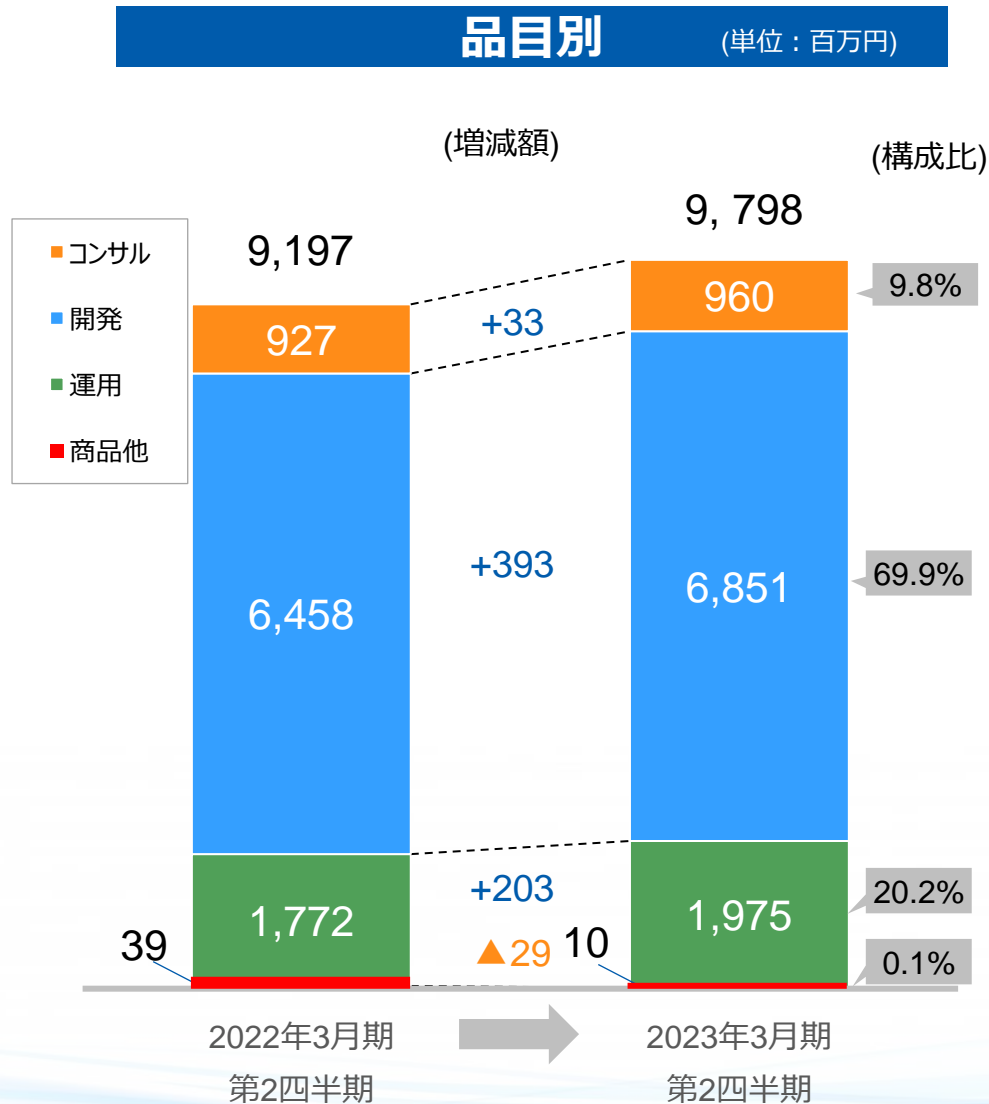
主な増減要因

- 技術者育成による単価向上、適正な原価管理による原価率低減
- 働き方改革や社内デジタル化の取り組み継続による販管費抑制

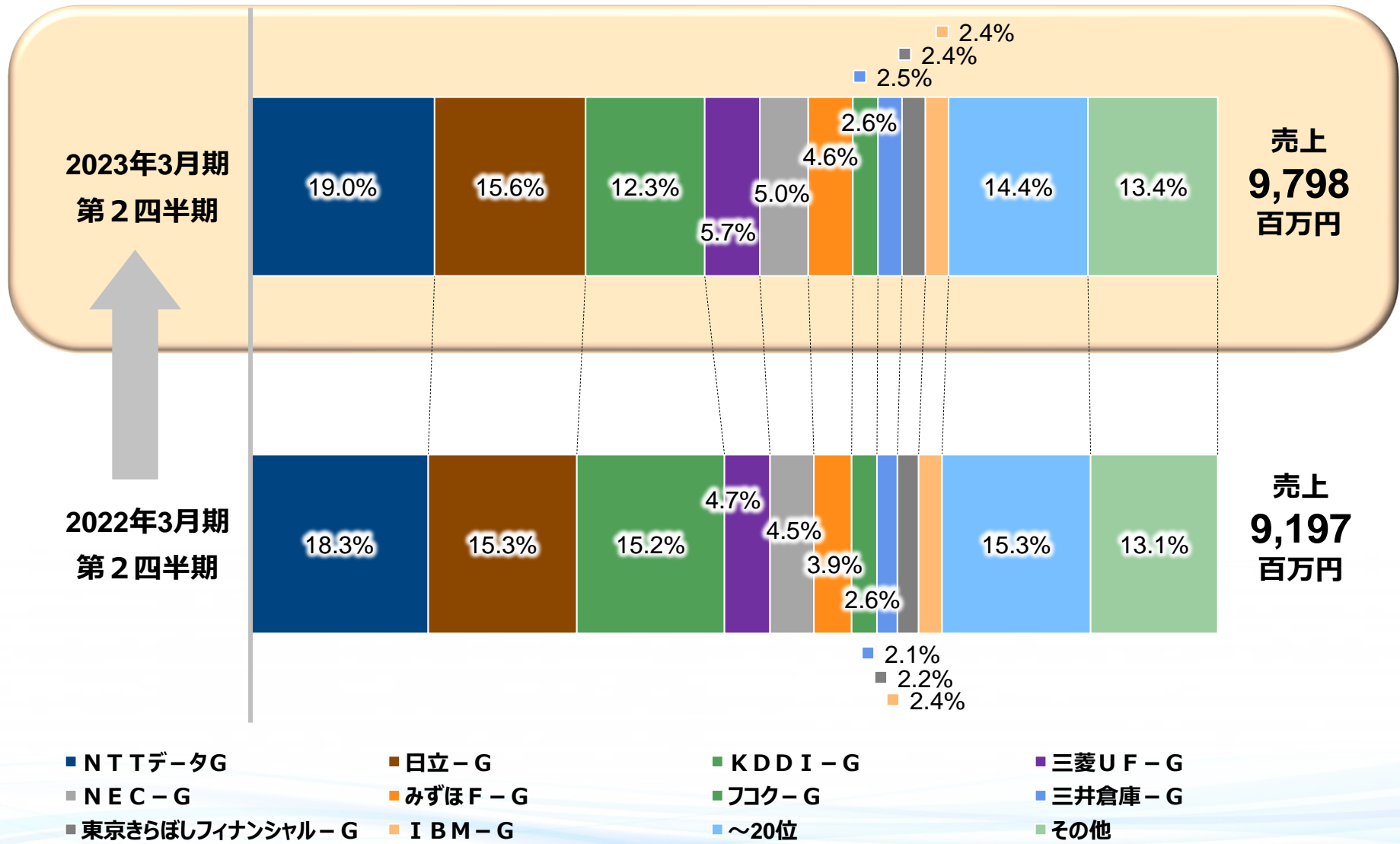
2022年3月期
第2四半期

2023年3月期
第2四半期

品目別売上構成

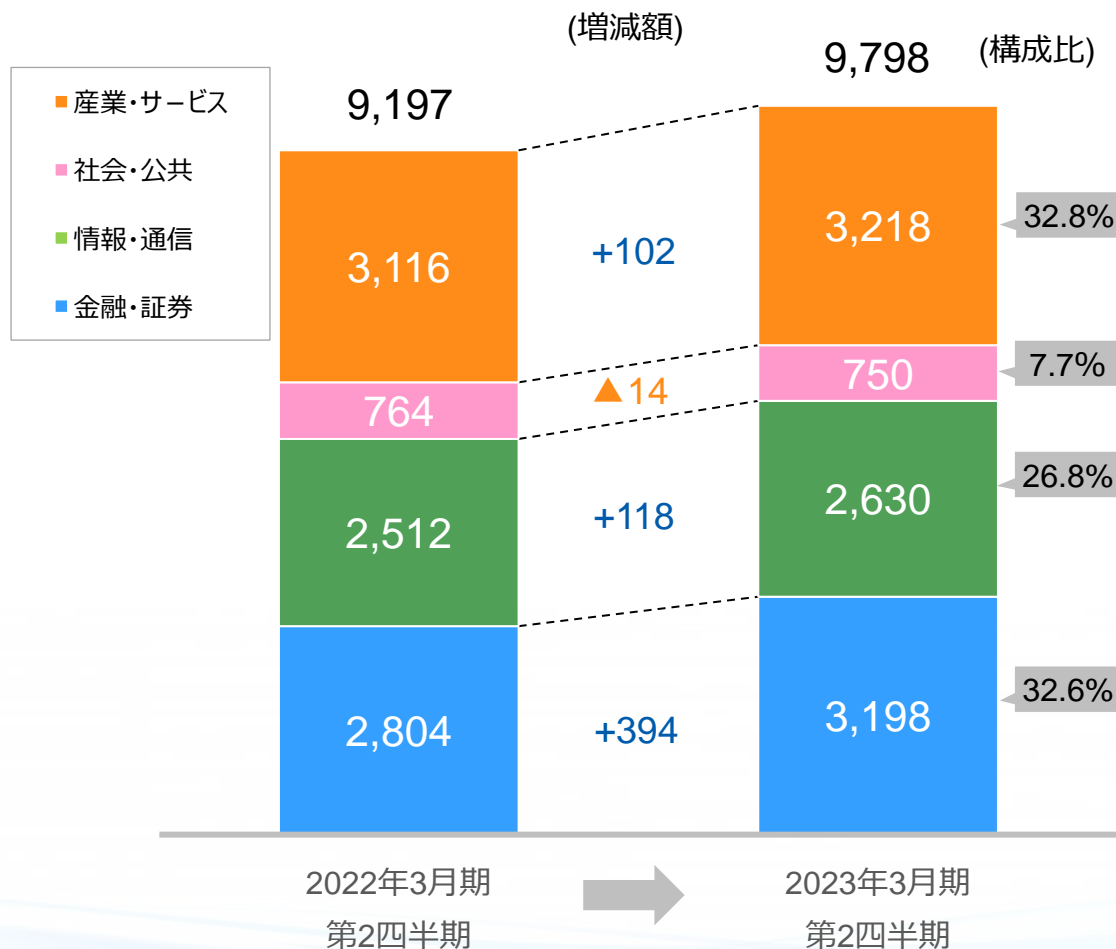


契約先顧客グループ別売上構成

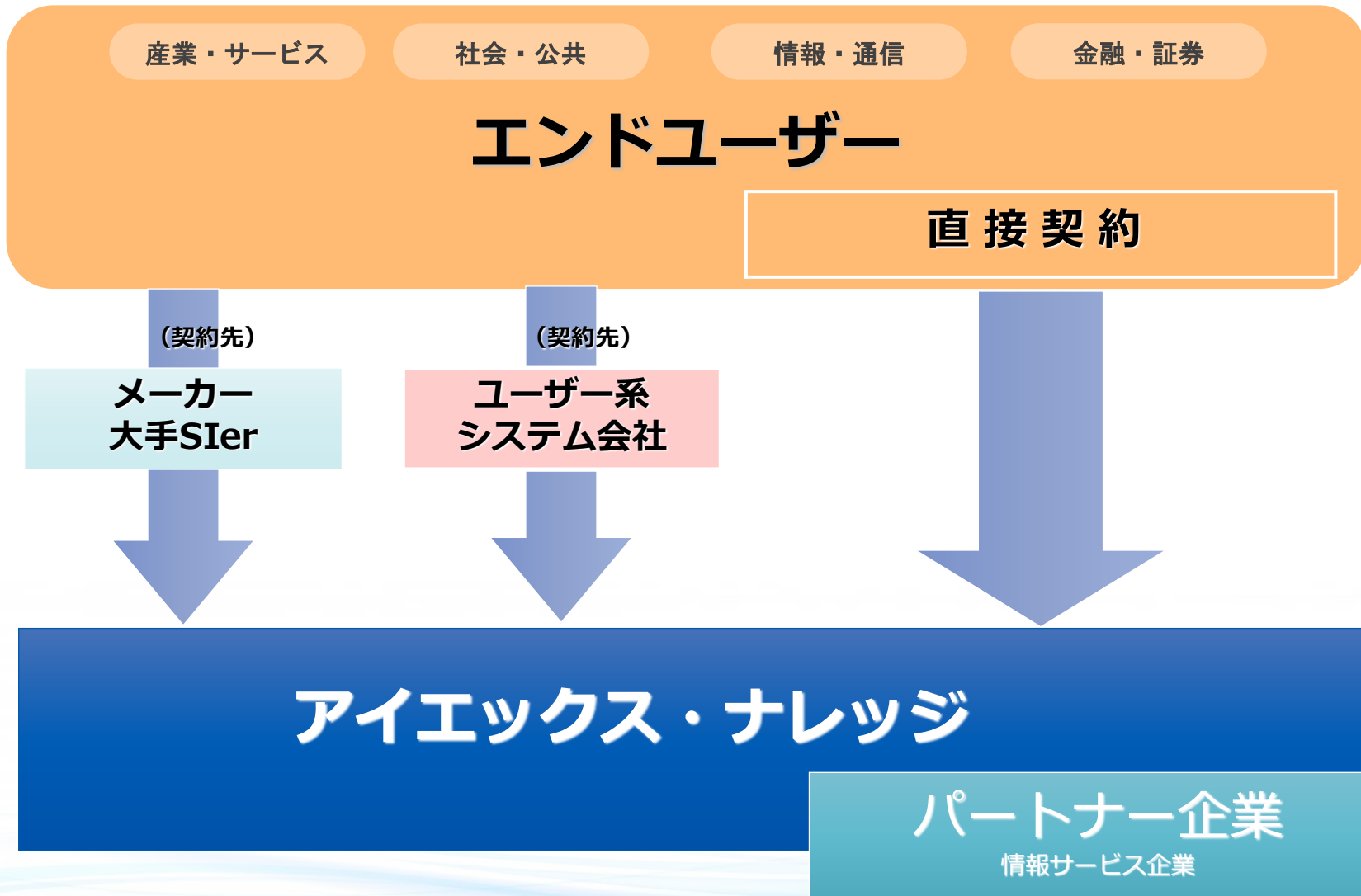


エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別 (単位：百万円)



(参考) 当社のビジネス構造

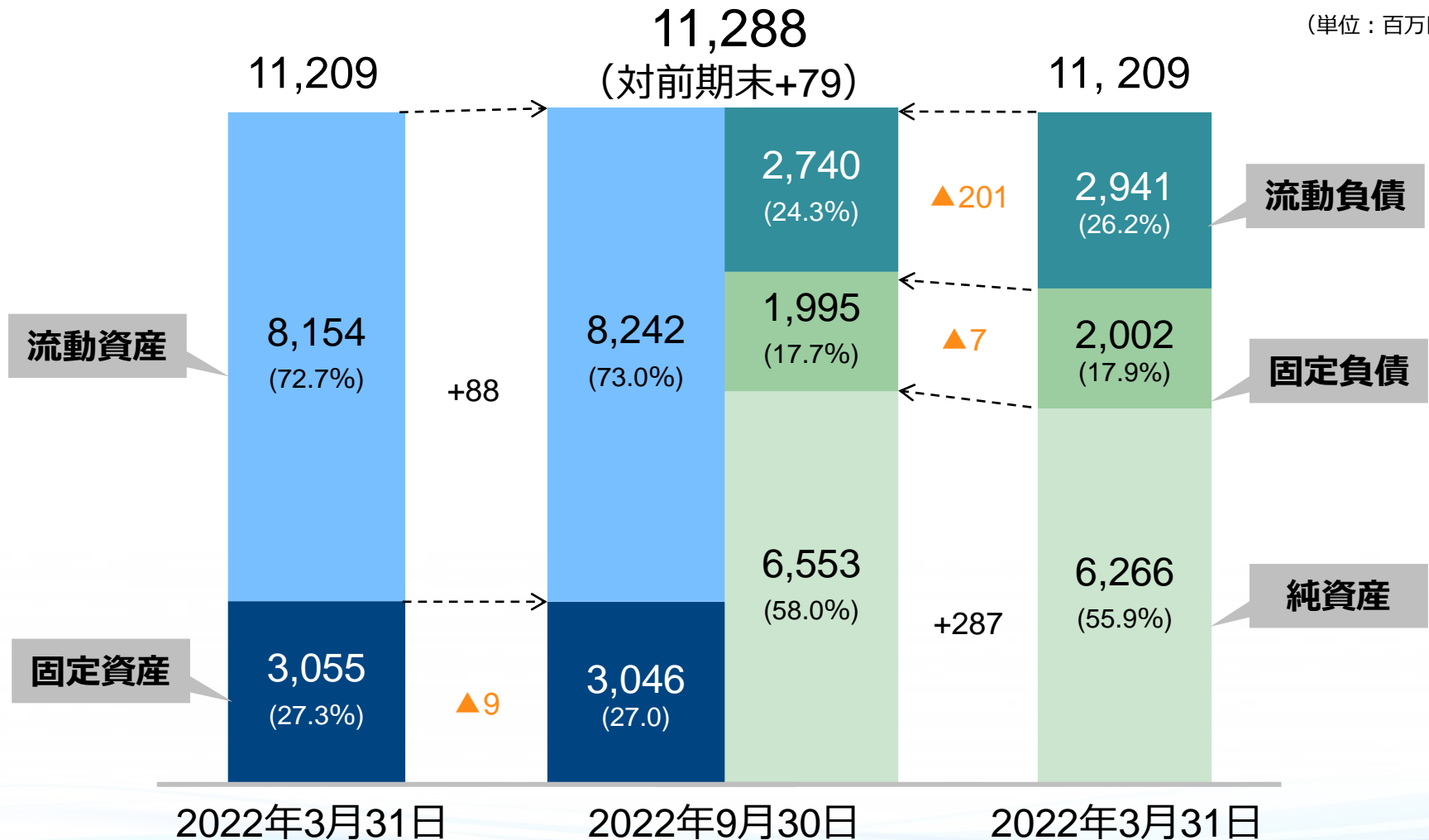


貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

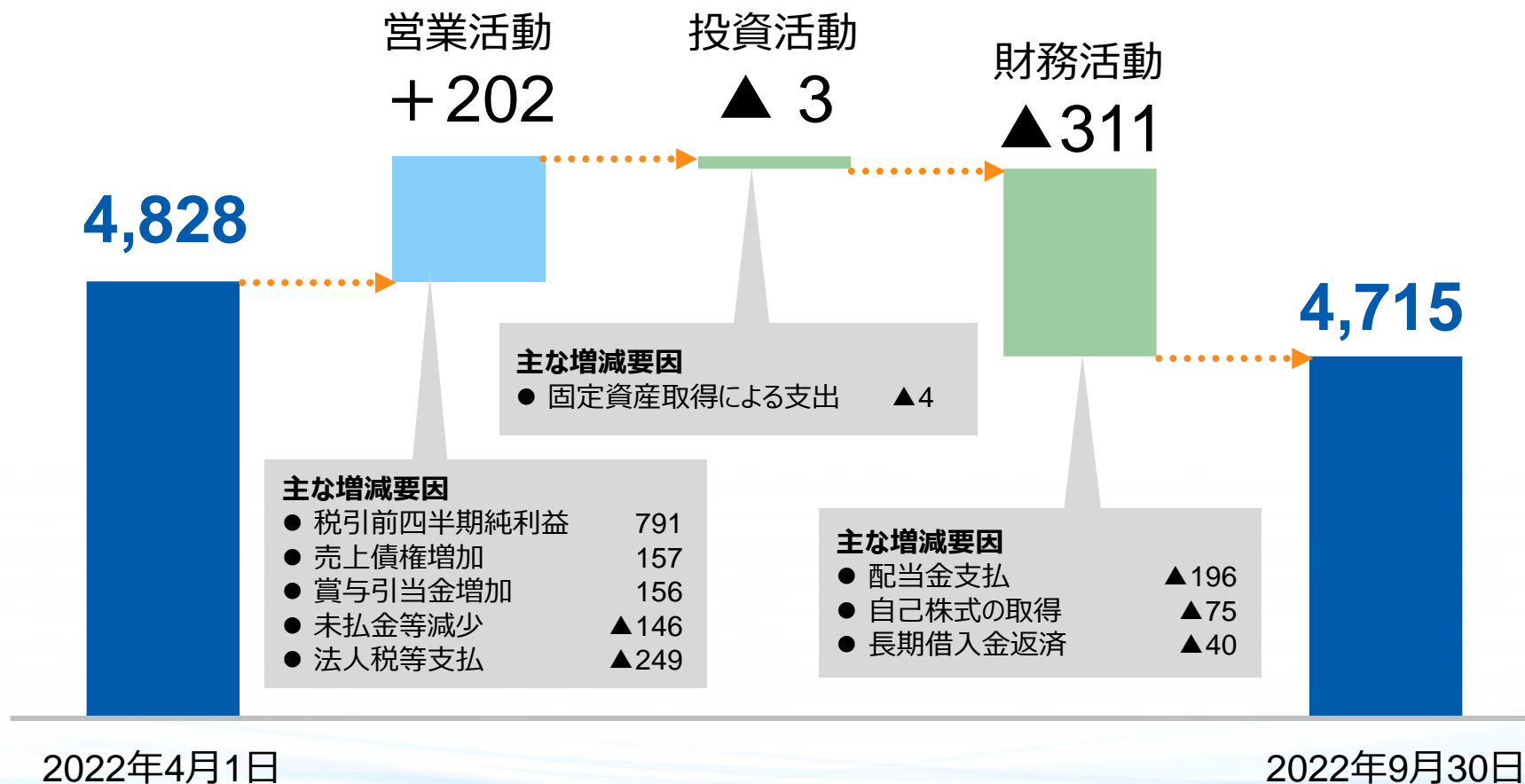
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2022年4月1日～2022年9月30日

(単位：百万円)



3. 今後の取組み

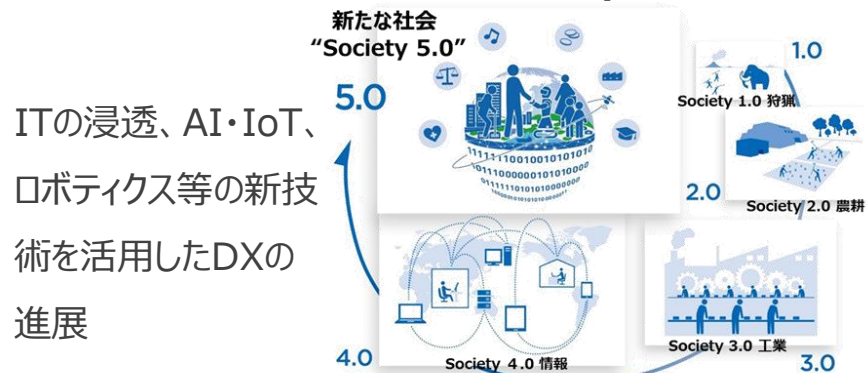
当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

市場環境とそれに対する当社の取り組み

情報社会（4.0）からSociety5.0の社会へ



出典：内閣府ホームページ

(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

新型コロナウイルス禍で「ニューノーマル時代」へ

新しい生活様式、
ビジネススタイル、
新しい価値観の
登場



出典：photoAC

<社会変化への対応>

DXの加速、働き方改革の加速

当社が担う役割

- ・既存顧客のデジタル化を見据えたシステム構築等への対応
- ・新たな技術への対応による付加価値やビジネスモデルの創出

お客様のビジネス課題解決

新たな市場創出

中期経営方針

【中期経営方針】

- ① 中核事業の拡大
- ② 次期成長事業の創出
- ③ 事業基盤の強化

中期経営計画で目指すもの <中期経営方針3本柱>

ケーパビリティの拡大からお客様との「共創」へ

ケーパビリティの拡大

新技術 ⇒ デジタル化 ⇒ ビジネス創出 への対応

「システム開発」事業拡大

システム開発
中心SIer

プロフェッショナル人財育成

M&A検討

財務基盤強化

次期成長事業

インフラ構築
を含めた
インテグレーター

財務・人財・技術基盤

「基盤構築」事業拡大

AWS構築技術者育成

Azure構築案件

中核事業

ブロックチェーン技術

AI技術

サービス
提供型
インテグレーター

Cloud開発技術者育成

Microsoftビジネスの検討

ERPビジネスの検討



共創

お客様の
ビジネス変革
ビジネス創出
に貢献

中期経営計画で目指すもの <SDGs>

事業を通じて社会貢献していくことで、企業価値の維持向上を目指し、お客様との共創のもと、未来を創造してまいります。

IKIのSDGs宣言

アイエックス・ナレッジ株式会社は、“情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する”という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」を経営課題の一つと捉え、全社一丸となって推進する事業活動を通じて、その達成に向け積極的に貢献してまいります。



SDGs取り組み方針

当社は、企業理念と行動指針に基づき、持続的成長と企業価値の向上に努め、「平和と公正な社会」「すべての人が生き生きと活躍できる社会」「豊かで持続可能な社会」という3つの社会の実現に貢献できるよう、以下の取り組みを推進してまいります。

1. 平和と公正な社会の実現に貢献 ～公平で平等な企業活動の推進～
2. すべての人が生き生きと活躍できる社会の実現に貢献 ～人材育成や女性活躍の推進～
3. 豊かで持続可能な社会の実現に貢献 ～ITを活用した付加価値の創出～

継続的な貢献へ

今後の取り組み - 中期経営計画への対応 -

No	取組みポイント	主な取組み内容
1	営業体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動、提案型営業による攻めの営業体制へシフトチェンジ ※クロスセル強化、営業KPIの計画化 ・顧客ファースト意識醸成
2	開発体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトモニタリング、原価管理徹底 ・開発要員の戦略的な適正稼働率維持 ・新技術（DX）に向けた開発体制整備
3	案件対応力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーとの案件対応力強化 →案件分野別にパートナー企業のカテゴライズ ・新技術に対応した人材育成（クラウドネイティブ人材）
4	デジタル化（DX）対応	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド構築からクラウド開発への対応 →AWS、Azure等のクラウド技術者育成 ・ビジネスイノベーション室の新設による次期成長事業の創出 ・ブロックチェーン、クラウド基盤構築およびアジャイル開発の強化 ・新たな技術分野への取組み
5	事業基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・PM育成、新技術習得などの人材育成投資 ・新卒採用と継続的な中途採用による技術者確保 ・デジタル化投資、DX基盤の整備 ・成長のスピードアップとケーパビリティ拡大（事業連携・M&A）

今後の取り組み <ピックアップ>

● クラウドネイティブ人材の育成

- ・計画的な人材育成 ⇒ お客様のDX化、ビジネス成長に貢献

● 積極的な事業投資

- ・事業提携、M&Aの推進 ⇒ 人的リソース拡大、サービス領域拡大

● SDGsの取り組み推進

- ・「IKIのSDGs宣言」 ⇒ 3つの社会の実現に貢献

→社会貢献につながる投資活動の推進 ⇒ ESG債購入（11月）

平和と公正な社会



すべての人が生き生きと
活躍できる社会



豊かで持続可能な社会



2023年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減率
売上高	19,593	18,541	5.7%
売上原価	15,705	14,978	4.9%
売上総利益	3,887	3,563	9.1%
売上総利益率	19.8%	19.2%	—
販管費	2,599	2,413	7.7%
営業利益	1,288	1,149	12.0%
経常利益	1,345	1,233	9.1%
当期純利益	904	848	6.6%
配当金	25円	20円	—

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

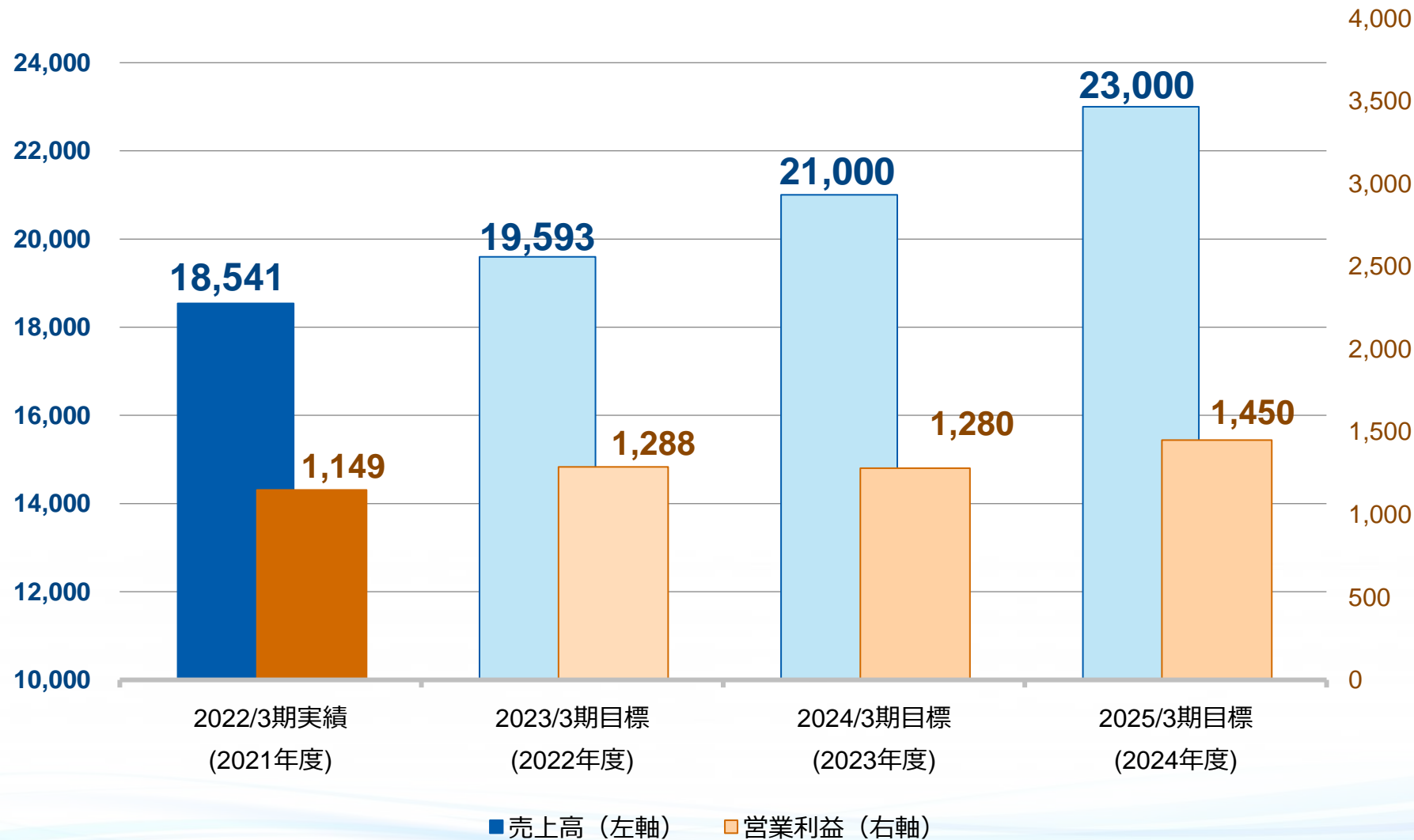
2023年3月期 業績予想 <ポイント>

2023年3月期通期業績上方修正

- **売上：進捗状況から予想数値の修正なし**
- **利益：予想数値を上方修正**
 - ✓ **売上原価抑制**
 - パートナー連携、適正な原価管理による生産性向上
 - プロジェクト管理徹底によるトラブル抑制
 - ✓ **販管費抑制**
 - 働き方改革や社内デジタル化への継続的な取り組み
- **配当金：20円 → 25円 へ増配**

中期業績目標

(単位：百万円)



※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。



IX Knowledge Inc.

「共創 by DX」

DXの流れに乗って社内外の共創を推進し市場“競争”に打ち勝つ

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 総務部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>